

消防通信

北から

南から

WAKAYAMA

水と緑と歴史のまち 気くばり・元気 わかやま市

本市は和歌山県の北西端に位置する「県都」で、市域は東西約29km、南北17.5km、面積210.24km²を有しております、北は大阪府阪南市及び泉南郡、東は紀の川市及び岩出市、南は海南市に接し、西は大阪湾の出入口にあたる紀淡海峡を挟んで淡路島、徳島県と相対しています。

地形は中央部を東西に流れる紀の川とその堆積物によってできた紀の川沖積平野、北部の和泉山地、南部の丘陵地帯で形成されており、気候は温暖な瀬戸内海気候に属しています。

古来、大阪湾の海上交通と紀の川の河川交通の結節点に位置するため、人・もの・情報が行き交う交流拠点として栄えてきました。



和歌山城（おはしろうか）

中世になるまでは地域全体を支配する者は現れず、雜賀衆をはじめとする裕福な土豪集団が割拠していましたが、天正13年（1585年）に豊臣秀吉により平定され、吹上の峰に「和歌山城」が築城されました。

その後、元和5年（1619年）に徳川家康の第10子・頼宣が入城し、以後、徳川御三家紀州藩55万5千石の城下町として繁榮し、江戸後期には人口約9万人を擁する全国7番目の大都市として栄えました。

この時代の紀州が生んだ人物として、享保の改革を行った暴れん坊将軍の異名をもつ第8代將軍・徳川吉宗が挙げられます。

昭和20年7月の和歌山大空襲により、当時の市街地の約7割が被害を受け、本市は壊滅的な状態になりましたが、市民の総力を結集した努力の結果、都市の復興再建が急ピッチで行われるとともに、昭和34年までには隣接14町村を合併して、現在の「和歌山市」となりました。

現在、第二阪和国道、京奈和自動車道、関西国際空港第二期事業などの建設工事が進められており、これらのプロジェクトの効果をいかに本市の発展に結び付けていくかが今後の大きな課題となっています。

消防局重点目標 「安全なまち 和歌山市をめざして」

和歌山市消防局は、消防局（5課）と5署6出張所、402名の職員で組織されています。

和歌山県 和歌山市消防局



和歌山県 和歌山市消防局
消防局長 丸山 和美

消防局庁舎は平成17年3月に開庁し、消防局、中消防署、市危機管理部が入った合同庁舎（地下1階、地上6階建）で、兵庫県南部地震規模の地震に耐える強度を有しています。また、中枢である通信指令施設の部分は機器等の損傷を防止するため、床免震構造を取り入れるなど、防災拠点としての構造と設備を備えています。

また、3階部分は平成17年4月にオープンした防災学習センターがあり、地域住民に対して災害の危機意識を促し、地域全体の防災対応力の向上を図るために、「災害体験シアター（そのときあなたは）」、津波の速さやどの程度の高さの津波が襲ってくるかをシミュレーションした「津波ハザード」、「煙避難体験」、「初期消火体験」などの設備を設け、「見て・聞いて・体験して・学習する」をテーマとしています。平成19年3月までの入館者数は2万9,687人となっています。



本部庁舎

さらに、昨年、地震体験車を購入し、運用を開始しました。本車両は、電動サーボモーター方式の3軸（前後、左右、上下方向の揺れ）タイプで、震度1から震度7までの9つの震度階の揺れを再現でき、特徴として東海、東南海・南海地震が同時発生を想定した地震を体験することができます。

また、昨年10月には市内の各消防署で予防業務に従事する職員の中から予防技術員等のエキスパートを選出し、法令違反対象物の是正を専門に、措置命令や告発までを視野に入れた「特別査察隊」を消防局内に発足させ、これまでの自発的な違反是正を促す「ねばり強い行政指導」



地震体験車

から、関係者に対して違反是正の意志を強く伝え、機を逸すことのない積極的な違反処理の取組みにより、是正率が大幅に上がり予想を超える成果を得ることができました。

本年度は高度救助隊発足に向け、救助隊員の養成、救助工作車Ⅲ型の導入を予定しております。

おわりに

東海、東南海・南海地震が懸念される中、地域住民が安心して暮らせる和歌山市にするために、消防職・団員一丸となって精進してまいります。